

令和 4 年第 1 回定例会一般質問

9 番 吉藤 里美 議員

質問事項	質問の趣旨	答 弁 を 求めた者	答弁者
1 在宅介護に対する支援について	本市の高齢化率は本年 1 月末現在、44.4%とほぼ 2 人に 1 人が 65 歳以上です。 また、本市の老人福祉計画及び第 8 期介護保険事業計画には、令和 2 年 6 月 1 日現在の後期高齢者の人口は 25.2%とあり、4 人に 1 人が 75 歳以上です。高齢者のみの世帯も増加するばかりで、1 人暮らし世帯：26.1%、夫婦のみ世帯：18.7%で、合わせると、全世帯数の 44.8%にもなります。 介護認定率は、令和 2 年実績は 22.2%、令和 7 年から 5 年刻みで推計されていますが、令和 22 年は 28.8%と増加する見込みとなっています。 このような状況から、在宅での老々介護が多いことが想像できますので、次の 3 項目について伺います。 ① 介護度別の認定者数と常に介護を要する在宅者の人数。 ② 介護者に対する支援について。 ③ 介護手当など経済的支援について。	市長	
2 豊かな暮らしを実感できるまちづくりについて	令和 4 年度の施政方針の一つに「豊かな暮らしとしごとを創る」と掲げられています。 国税庁の 2018 年の調査によると、日本人の年収分布では、年収 200 万円以下の貧困	市長	

	層が 21.8%、ほぼ貧困層とされる年収 200 万円台は 15.2%であり、300 万円以下が 37%と 3 人に 1 人が貧困層です。 また、翌年 2019 年の調査では、1 年を通して勤務した給与所得者の一人当たりの平均給与は 436 万円（前年比 1.0%減）、正規職員 503 万円、非正規職員 175 万円。男性 540 万円、女性 296 万円でした。 また、一番人数の多い年収の中央値は 370 万円とのことです。正規・非正規、男女の格差は著しいものがありますが、また、地域差もあります。大都市・県都と違い大企業等がない本市においては、この調査値より、低いことは明らかなです。 収入だけをもって「豊かさ」をいうことはできませんが、「豊かなくらしとしごとを創る」と市政運営の基本方針に掲げられていますので、市長の考える「豊かなくらし」はどのようなことか伺います。		
--	--	--	--

7 番 後藤 雅克 議員

質問事項	質問の趣旨	答 弁 を 求めた者	答弁者
1 新型コロナワクチン接種状況について	マスコミで報道されているように、日本は3回目の新型コロナワクチン接種が先進国の中で最も遅いといわれている。 そこで本市の新型コロナワクチン接種状況について伺う。 ① 初回（1回目・2回目）接種の状況について。 ② 3回目接種の状況について。 ③ 今後の対策について。	市長	
2 本市のPPP／PFI推進について	人口減少や新型コロナウイルス感染症への対策等により、国及び地方公共団体の財政状況が厳しさを増している中、今後、多くの公共施設が老朽化による更新時期を迎えてくる。そこで、効率的かつ効果的に良好な公共サービスを提供するだけでなく、新たなビジネス機会の創出等による地域活性化等の実現を図りつつ、公的負担の抑制を図るため、PPP/PFIの導入促進が求められている。 国では、令和3年6月に「PPP/PFI推進アクションプラン」を改定することをはじめ、地方公共団体等へのPPP/PFI導入促進に向けた積極的な支援等を実施しているが、地方公共団体におけるPPP/PFIの導入実績には、人口規模等により大きな差があり、特に人口20万人未満の地方公共団体において、PPP/PFIの導入が	市長	

	進んでいないといった課題がある。 現在、日本における P F I 事業の数は 875 件（令和 2 年度末時点）で着実に増加している。本市においても、市民サービスや公共施設の維持管理等における民間能力の活用が重要と考えるが、これまでの取組と今後の方針を伺う。		
3 豊後大野市図書館について	令和 3 年 2 月に新図書館が開館し、1 年が経過した。そこで、図書館の現状等を伺う。 ① 貸出冊数、入館者数の目標値に対する利用状況について。 ② レファレンスサービスの充実を新図書館の特徴としているが、具体的なサービスについて。 ③ 図書の購入について。 ④ 図書館の開館状況について。	教育長	

3 番 高野 辰代 議員

質問事項	質問の趣旨	答 弁 を 求めた者	答弁者
1 定住促進対策 について	人口減少の中、定住促進のさらなる施策が急務であるが、市の取組について伺う。 ① 令和 4 年度の定住促進の取組について。 ② 千歳小中一貫校新築後の千歳小学校跡地等市有地の宅地化の考えはないのか。	市長	
2 地震災害と今後の対応について	令和 4 年 1 月 22 日に日向灘を震源とするマグニチュード 6.6 の地震があったが、下記について伺う。 ① 当日の市の対応と本市の被害状況について。 ② 一人暮らしの高齢者への声掛け等、安否確認の仕組みがあると安心できると考えるが現状はどうか。	市長	
3 市民が輝くまちづくり「市民活動ポイント制」について	他市において、市民団体が主催する活動（環境美化、防犯、防災活動や事前に申請して認められた各種団体活動）に参加した方にポイントを差し上げ、市内の買い物に利用したり、ポイントを応援する登録団体へ寄付できる仕組みの「まちづくりポイント制度」を実施しているところがある。 まちづくりの主役である市民活動を有意義なものとし、持続可能な豊後大野市づくりに向けて「市民活動ポイント制」創設の	市長	

	考えはないか。		
--	---------	--	--

1 番 川野 辰徳 議員

質問事項	質問の趣旨	答 弁 を 求めた者	答弁者
1 農業施策について	① 令和 4 年度から農業次世代人材投資資金が最大 1,000 万円に変更される見込みと聞いている。 来年度の新規就農予定者数とこの資金の利用見込みを伺う。 また、同資金を国と折半で補助することになると思うが、その予算額についても伺う。 ② 昨年は、農産物がコロナや天候の影響で全般的に安く、農業者は大変苦しい状況でした。生産を維持継続するために、苗代等の準備にかかる費用を支援する補助金等が必要と思うが、その考えはないか。	市長	
2 三重町東部地区コミュニティセンターの設置について	三重町東部地区は、市内最大の世帯数で人口も多いが、災害対応の避難所もなく、地域振興も含めて、早急にコミュニティセンターを建設すべきと思われるが、その考えはないか伺う。	市長	
3 昨年の市長の出張の成果について	昨年の 10 月中旬から下旬にかけて、企業誘致のため、関東及び関西方面に出張されたと聞いている。 随行者や同行者も含め、具体的な内容と成果について伺う。	市長	

4 悪臭問題について	コロナの影響で、代表者会議等の開催もない状況となっている。 経過と現況について伺う。	市長	
-------------------	---	-----------	--

2 番 工藤 秀典 議員

質問事項	質問の趣旨	答 弁 を 求めた者	答弁者
1 「サウナのまち」宣言の進捗状況と今後の取組について	① 昨年の7月に「サウナのまち」を宣言して、7か月が経過した。メディアにも多数取り上げられ、出だしは好調であったと思うが、その後の反響とどのような取組をしてきたのかを伺う。 ② もともと豊後大野市民にとって、温泉やサウナに入ることは別府などの旅行先で入る程度のもので、あまり生活に密着したものではなかったと思うが、どのようにして市民にサウナを定着させるのかを伺う。	市長	
2 定住促進の取組について	① 豊後大野市には、温泉がない反面、地震の原因である活断層がないということを知ったこともあり、本市の大地は他の市町村から見ると安定していて、安全ではないかと推測している。 地盤等の専門的な見地を本市の定住促進のアピールポイントとすることはできないかを伺う。 ② 以前、九重町に沖縄から移転してきた企業がテレビで紹介されていた。企業の移転の決め手は、温泉に加え、光ファイバー回線に関する通信環境等が整備されており、「W i - F i (ワイファイ) の状態がよく、どこからでもオンラインで仕事ができる環境にあるため」ということだった。 市内のW i - F i や携帯電話の接続状	市長	

	況について伺う。		
--	----------	--	--

6 番 原田 健蔵 議員

質問事項	質問の趣旨	答 弁 を 求めた者	答弁者
1 新型コロナウイルス感染症について	① 市内における 2 月末現在の第 6 波オミクロン株感染者数について。 (入退院療養者数、宿泊療養者数、自宅療養者数及び市民病院の現状) ② ワクチン接種状況及びその見通しについて。 (エッセンシャルワーカー・高齢者の 3 回目、5 歳から 11 歳の子ども) ③ コロナ禍における救急体制について。 ア 救急車の適正利用のための相談体制について。 イ 救急安心センター事業 #7119 の導入について。 ウ 搬送困難事案について。	市長	
2 コロナ禍における令和 4 年度予算執行について	① 人口減少と少子化対策への取組。 ア 関係人口、交流人口増に向けた取組。 ② 感染防止のための行動自粛や地域行事等の軒並み中止による地域力の減衰に対する取組。	市長	
3 J R 三重町駅前周辺まちづくりについて	① 県・市各直轄事業の進捗状況について。 (駅横公園並びに駐車場と道路整備・駅前駐車場) ② にぎわい創出のための駅周辺空き店舗・空き地対策について。	市長	

	③ 駅北側の利便性向上のための J R 南北自由連絡通路設置について。 （大原総合公園への安全通路の確保・通勤通学の分散）		
--	--	--	--

5 番 春野 慶司 議員

質問事項	質問の趣旨	答 弁 を 求めた者	答弁者
1 新型コロナ (オミクロン 株) への対応に ついて	最近(オミクロン株が主流になってから)の感染経路で圧倒的に多いのが、家族、次に学校、施設と続いているが、第5波のときのように、居酒屋や飲食店は上位に顔を出していない。それにも関わらず、居酒屋や飲食店に時短要請をしている。 居酒屋や飲食店だけをターゲットにした対応はいいかげんにやめたらいかがか。	市長	
2 ふるさと納税 の「返礼品合戦」 からの撤退につ いて	今や「ネットショッピング化」している とまで酷評されている返礼品合戦から勇気 を持って撤退してはいかがか。 ふるさと納税制度は、寄附を受けた自治 体は得をするが、その人が居住している自 治体は損をする。要するに得する側があれ ば損をする側がある「ゼロサムゲーム」な のだから。	市長	
3 指定管理者制 度について	① 指定管理者の選定方法について。 応募書類が難しすぎる。その結果、補 助金や補助事業の申請書類の作成に長け た中央や市外のシンクタンク、地方の補 助事業を生業(なりわい)としている個 人や団体にさらわれてしまう。 書類を簡素にし、面談を重視して、地 元の団体を選ぶようにすべきではない か。 ② 指定管理者の専門性について。 令和3年第3回定例会で行った私の一	教育長	

	般質問への答弁で、公民館等への運営の指定管理者となった団体について、公民館に勤務していた経験や社会教育主事の資格を持つ社員の存在を評価しているという答弁や教員免許や調理師免許などの資格を有す職員を雇用し、公民館業務における専門性を高めているとの答弁がありました。この専門性は「余人をもって代えがたい」ほどの専門性なのか。例えば、この私のスキルでは公民館のどの業務も務まらないのか。		
--	---	--	--

4 番 佐藤 昭生 議員

質問事項	質問の趣旨	答 弁 を 求めた者	答弁者
1 公用車について	市管理の公用車について伺う。 ① 所有の車両台数について。 ② 車検、点検、自動車保険等について。 ③ 安全運転管理者について。	市長	
2 「ぶんど大野里の旅公社」について	「ぶんど大野里の旅公社」について、位置づけと現在の状況、今後の役割と方向性について伺う。	市長	

8 番 嶺 英治 議員

質問事項	質問の趣旨	答 弁 を 求めた者	答弁者
1 集落の水問題 の実態把握結果 とその対応につ いて	令和 3 年度に公営水道外地域の実態把握調査が実施された。その状況と結果、対応について伺う。 ① 実態把握調査の時期、規模及び結果について。 ② 結果を受けての市の今後の対応について。 ③ 関連する県の支援事業への要望状況（県事業との連携）について。	市長	
2 ジオサイト 「蝙蝠の滝」の 付加価値を高め るための未来投 資について	本市ジオサイトの一つでもある「蝙蝠の滝」について、付加価値を高めるための本市の未来投資（戦略）を伺う。 ① 本市の観光資源としての「蝙蝠の滝」の位置づけについて。 ② 未来投資（戦略）について。 （具体的に取付道の整備、展望所付近の整備や普光寺への直結ルートなど。）	市長	

11番 川野 優治 議員

質問事項	質問の趣旨	答 弁 を 求めた者	答弁者
1 中学校の部活動の将来について	中学校の部活動の担い手を学校から地域に移行する動きが全国で進んでいる。 この背景には、部活動は学校教育の一環であるが、正規の教育課程ではなくて、教員の献身的なボランティアに支えられているという実態がある。教員の働き方改革に基づくこの動きについて、教育委員会はどう考えているのか。	教育長	
2 関係人口交流拠点施設について	新年度から活動を開始する関係人口交流拠点施設は第2期地方創生の中核施設として期待されているが、具体的な活動内容について伺う。	市長	